



## 2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月8日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東  
 コード番号 9716 URL <https://www.nomurakougei.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 榎本 修次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理統括本部長 (氏名) 奥野 福三 (TEL) 03 (5962) 1119  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	20,785	△20.0	93	△93.3	165	△88.5	14	△98.2
2021年2月期第1四半期	25,997	△17.4	1,392	△46.2	1,439	△45.8	766	△55.1

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 175百万円 (△77.6%) 2021年2月期第1四半期 780百万円 (△49.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	0.13	—
2021年2月期第1四半期	6.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	74,573	44,918	60.2
2021年2月期	82,009	47,529	57.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 44,894百万円 2021年2月期 47,500百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	43,000	△20.0	0	△100.0	50	△98.0	20	△98.6	0.18
通期	105,000	△2.5	2,500	△48.8	2,550	△49.1	1,700	△44.7	15.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年2月期1Q	119,896,588株	2021年2月期	119,896,588株
2022年2月期1Q	8,632,916株	2021年2月期	8,632,888株
2022年2月期1Q	111,263,679株	2021年2月期1Q	111,263,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(追加情報) .....	10
3. 補足情報 .....	11
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の実績 .....	11
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の実績 .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	25,997	20,785	△5,211	△20.0
営業利益	1,392	93	△1,299	△93.3
経常利益	1,439	165	△1,274	△88.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	766	14	△752	△98.2

当第1四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が3月に一旦解除されたものの、4月下旬には3度目の緊急事態宣言が発出され、外食・旅行を中心に消費が大きく落ちこむなど、依然として厳しい状況が続いております。

世界経済につきましては、ワクチン接種ペースの早い米国など、感染収束による経済活動の正常化が進んでいる国ではコロナ危機からの回復を加速させているものの、新興国では感染拡大に歯止めがかかっていない地域もあり、予断を許さない状況であります。

当社グループを取り巻く環境におきましては、商業施設への営業制限や、リアル空間における展示会・イベントの計画見直し、渡航制限に伴うインバウンド需要の減少などにより、集客に関しての民間の設備投資が引き続き抑制傾向にあります。国内景気が依然戻らない中、需要は低い水準で推移しており、厳しい状況が長期化しております。

このような状況において当社グループは、中期経営計画のテーマ「社会から選ばれるノムラへ」に向けて、空間創造を通して当社グループにしかできない新たな提供価値を創出し、ウィズ/アフターコロナという環境におきましても、歓びと感動にあふれた持続可能な、より良い社会の実現に貢献するべく、事業活動を続けて参りました。

また、お客様、協力会社および当社グループ従業員など、関係者の安全の確保を最優先とし、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限の配慮をしつつ、事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間につきましては、主にディスプレイ事業の専門店市場、複合商業施設市場、広報・販売促進市場、余暇施設市場等において売上が減少したことにより、売上高は207億85百万円（前年同期比20.0%減）となりました。また、利益面におきましては、売上高減少の影響が大きく、営業利益は93百万円（前年同期比93.3%減）、経常利益は1億65百万円（前年同期比88.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同期比98.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

大型案件を手掛けた博物館・美術館市場の売上が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、民間の設備投資・販売促進活動への投資が減少していることから当社グループの受注活動が停滞しており、主に専門店市場、複合商業施設市場、広報・販売促進市場、余暇施設市場において売上が減少しました。

その結果、売上高は206億11百万円（前年同期比20.4%減）、営業利益は1億26百万円（前年同期比91.4%減）となりました。

（単位：百万円）

市場分野名	売上高		増減額	増減率 (%)
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販・飲食店、ブランド店舗等)	7,676	6,199	△1,477	△19.2
百貨店・量販店市場	911	758	△152	△16.8
複合商業施設市場	3,263	1,837	△1,425	△43.7
広報・販売促進市場 (企業PR施設、展示会、ショールーム等)	2,671	1,742	△929	△34.8
博物館・美術館市場	3,322	4,050	728	21.9
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル、エンターテインメント施設等)	4,234	1,993	△2,241	△52.9
博覧会・イベント市場	147	297	150	101.8
その他市場 (オフィス、鉄道・空港関連施設、プライダ ル、保育園等、上記以外の市場に係るもの)	3,673	3,733	59	1.6
ディスプレイ事業	25,900	20,611	△5,288	△20.4

②飲食・物販事業

文化施設、商業施設、公共施設などの飲食店・物販店の運營業務等を手掛けましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの店舗において臨時休業や営業時間短縮の対応をおこなったことから、売上高は1億73百万円（前年同期比79.6%増）、営業損失は15百万円（前年同期は57百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、745億73百万円（前連結会計年度末比74億36百万円減）、負債は296億55百万円（前連結会計年度末比48億24百万円減）、純資産は449億18百万円（前連結会計年度末比26億11百万円減）となりました。

総資産は、主に受取手形及び売掛金が減少したことにより、減少しております。

負債は、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、減少しております。

純資産は、主に配当金の支払いにより、減少しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.9%から60.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月8日に公表いたしました2022年2月期の連結業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細は、本日（2021年7月8日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当該連結業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,847	35,302
受取手形及び売掛金	20,859	11,201
たな卸資産	9,416	10,485
その他	2,307	2,180
貸倒引当金	△33	△31
流動資産合計	66,397	59,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,423	6,446
土地	3,743	3,743
その他	2,065	2,146
減価償却累計額	△4,602	△4,689
有形固定資産合計	7,630	7,646
無形固定資産	2,689	2,694
投資その他の資産		
投資有価証券	3,101	3,225
繰延税金資産	870	861
その他	1,605	1,266
貸倒引当金	△285	△259
投資その他の資産合計	5,292	5,094
固定資産合計	15,611	15,435
資産合計	82,009	74,573

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,423	9,208
未払法人税等	703	188
前受金	8,311	10,111
賞与引当金	1,865	2,629
完成工事補償引当金	39	38
工事損失引当金	35	52
その他	2,828	2,199
流動負債合計	29,207	24,427
固定負債		
退職給付に係る負債	4,884	4,824
その他の引当金	58	53
その他	329	349
固定負債合計	5,272	5,227
負債合計	34,480	29,655
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	34,839	32,072
自己株式	△1,092	△1,092
株主資本合計	47,106	44,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	493	578
為替換算調整勘定	78	142
退職給付に係る調整累計額	△177	△165
その他の包括利益累計額合計	394	555
非支配株主持分	28	24
純資産合計	47,529	44,918
負債純資産合計	82,009	74,573



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年3月1日 至 2021年5月31日）
売上高	25,997	20,785
売上原価	20,555	16,924
売上総利益	5,442	3,861
販売費及び一般管理費	4,049	3,767
営業利益	1,392	93
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	15	22
仕入割引	14	7
受取保険金	9	20
その他	12	23
営業外収益合計	54	75
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	7	3
営業外費用合計	7	3
経常利益	1,439	165
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
店舗臨時休業による損失	51	6
特別損失合計	54	7
税金等調整前四半期純利益	1,385	159
法人税等	614	145
四半期純利益	770	14
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	766	14

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	770	14
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	85
為替換算調整勘定	△27	64
退職給付に係る調整額	12	11
その他の包括利益合計	10	160
四半期包括利益	780	175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	777	175
非支配株主に係る四半期包括利益	3	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,900	96	25,997	—	25,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2	2	△2	—
計	25,901	99	26,000	△2	25,997
セグメント利益又は 損失(△)	1,465	△57	1,407	△14	1,392

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,611	173	20,785	—	20,785
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	11	12	△12	—
計	20,612	185	20,798	△12	20,785
セグメント利益又は 損失(△)	126	△15	110	△17	93

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△17百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

(追加情報)

(株式報酬制度の導入及び自己株式の処分)

当社は、前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 連結財務諸表等(2)その他②」に記載のとおり、2021年5月27日開催の第84回定時株主総会の決議により、当社の取締役(社外取締役を除き、以下「対象取締役」といいます。)および執行役員(対象取締役と併せて、以下「対象取締役等」と総称します。)に対して当社の中長期的な企業価値及び株主価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆さまと一層の価値共有を進めることを目的に、当連結会計年度より対象取締役等を対象とする新たな報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度及び業績条件付株式報酬制度を導入しております。

なお、2021年5月27日開催の当社取締役会において決議した譲渡制限付株式報酬の割当として、6月25日に自己株式62,291株の処分を実施しております。

3. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の実績

① 生産高の実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	生産高（百万円）	生産高（百万円）
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	8,616	6,167
百貨店・量販店市場	909	832
複合商業施設市場	3,792	1,577
広報・販売促進市場	3,316	1,492
博物館・美術館市場	2,481	3,316
余暇施設市場	4,422	1,727
博覧会・イベント市場	316	883
その他市場	5,027	5,561
ディスプレイ事業 小計	28,883	21,557
(飲食・物販事業)	—	—
合計	28,883	21,557

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
 2 生産高の金額は販売価格によっております。  
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	4,401	7,035	5,560	6,606
百貨店・量販店市場	324	960	1,213	1,547
複合商業施設市場	2,347	5,969	876	2,262
広報・販売促進市場	1,845	9,984	743	1,924
博物館・美術館市場	3,629	8,368	4,374	9,229
余暇施設市場	1,013	7,405	5,649	9,232
博覧会・イベント市場	1,750	10,741	2,969	14,862
その他市場	6,574	16,482	7,547	11,943
ディスプレイ事業 小計	21,887	66,947	28,936	57,607
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	21,887	66,947	28,936	57,607

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	7,676	6,199
百貨店・量販店市場	911	758
複合商業施設市場	3,263	1,837
広報・販売促進市場	2,671	1,742
博物館・美術館市場	3,322	4,050
余暇施設市場	4,234	1,993
博覧会・イベント市場	147	297
その他市場	3,673	3,733
ディスプレイ事業 小計	25,900	20,611
(飲食・物販事業)	96	173
合計	25,997	20,785

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) セグメント別 (ディスプレイ事業は制作品別) の生産高、受注および売上高の実績

① 生産高の実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	生産高 (百万円)	生産高 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	14,770	10,221
展示制作	7,430	5,717
環境演出制作	1,362	620
販促品制作	81	159
企画・設計・監理	3,258	1,679
その他	1,979	3,158
ディスプレイ事業 小計	28,883	21,557
(飲食・物販事業)	—	—
合計	28,883	21,557

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
 2 生産高の金額は販売価格によっております。  
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	9,757	23,242	11,491	19,205
展示制作	4,022	24,487	8,346	24,035
環境演出制作	2,983	3,529	652	1,496
販促品制作	82	41	141	99
企画・設計・監理	1,467	8,363	1,693	4,640
その他	3,573	7,282	6,612	8,129
ディスプレイ事業 小計	21,887	66,947	28,936	57,607
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	21,887	66,947	28,936	57,607

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	13,268	9,982
展示制作	7,122	5,602
環境演出制作	1,133	480
販促品制作	84	142
企画・設計・監理	2,231	1,553
その他	2,059	2,850
ディスプレイ事業 小計	25,900	20,611
(飲食・物販事業)	96	173
合計	25,997	20,785

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。